

# モーツァルティアン・フェライン

6月例会 (第349回)

2015年6月7日 (日) 日曜日です!

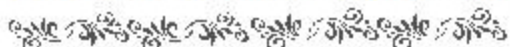
開場14時00分開演14時30分

会場 原宿 カーサ・モーツァルト 交通案内・地図等裏面をご覧ください

会費 ¥3500 (会員一般共) 自由席 当日券あり 会員以外の方大歓迎

主催 モーツァルティアン・フェライン

お問い合わせ 090-2223-8101 (澤田) 090-5191-3404 (石津)



## 久元祐子レクチャー・コンサート

「モーツァルトの楽譜」を読み解く ピアノとお話 久元祐子

### 取り上げる曲

ソナタ K284, K331, K332, K333, K457, ロンド K511, 交響曲 K397

ピアノ協奏曲 K488,

「ああお母さん聴いてください」のテーマによる変奏曲 K265 より



### 先生のコメント

昨年は、「モーツァルトの楽譜」ということで、2台(ヴァルター・モデル、シュタイン・モデル)のピアノフォルテの音色の聴き比べをしていただき、ピアノフォルテが、ピアノ作品の作曲にあたって、いかに大きな役割を果たしたかを感じていただきました。

今年の例会では、自筆譜と初版譜、また原典版と実用版など「モーツァルトの楽譜」について、奏者の立場からお話しさせていただきたいと思っております。つい最近もK331(トルコ行進曲付)のソナタの自筆譜の一部が発見され大きな話題となりました。新しく発見された自筆譜は、実際これまで私たちが弾いている音とどこが異なるのでしょうか。モーツァルトの残した楽譜に於いては、その人生同様、謎に包まれた部分も多く残されています。未完で終わっている作品は、そのあと、何を続けようとしていたのかわかっていない曲もあります。また同じ音型を繰り返すとき、最初につけていた指示が2度目にはついていないような箇所もあり、つけ忘れたのか、省略しているだけか当然最初と同様に弾いてほしいという意図なのか、あえて変えて弾いてほしい、ということなのか議論が分かれるような場面も出てきます。書き直しが一つもない…と言われるモーツァルトの自筆譜ですが、実際には、少ないとは言え、訂正のあとが全くないわけではありません。どんな箇所を訂正したのか、その跡をたどり、実際の音とともに、モーツァルトの作曲過程に想いを馳せたいと思います。実際に私たちがモーツァルトを演奏するとき、目の前にある「楽譜」に対し、どのようにお話ししていくのか、そしてモーツァルトのメッセージを「楽譜」という「記号」を通じてどのように読み解いていくのか、そのプロセスについても触れたいと思っています。

# 久元祐子プロフィール

東京芸術大学音楽学部(ピアノ専攻)を経て同大学大学院修士課程を修了。ソビエト国立交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン・サロンオーケストラ、ベルリン交響楽四重奏団など、内外のオーケストラや合奏団と多数共演。知性と感性、繊細さとダイナミズムを兼ね備えたピアニストとして高い評価を受ける。音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。

1829年製ベーゼンドルファー、1843年製ブレイエル、1868年製エラールなどを所蔵。それら歴史的楽器の演奏会や録音にも数多く取り組み、それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追究する。ショパン生誕200年記念年には、全国各地でブレイエルによる演奏会を行い、大賀ホールにおいて天皇皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。2011年ウィーンでのリサイタルで好評を博し、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾り「ベーゼンドルファー・アーティスト」の称号を受ける。

2012年、2014年頃は、イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され称賛された。

2013年国立音楽大学楽器学資料館ピアノ・プロジェクトメンバーとして歴史的楽器の演奏会に出演。モーツァルト時代のスクウェアピアノ、ベートーヴェン時代のジョン・ブロードウッド、シューベルト時代のシャンソンなどを使用した演奏会が大きな反響を呼ぶ。2014年ザントリーホール(ブルーローズ)にて国立音楽大学90周年事業演奏会として「黎明期のピアノ〜ワグネル、ウィーン、ロンドンの名器たち〜」に出演し好評を博す。これまでにCD10作をリリースし「ハイデンとモーツァルト」「青春のモーツァルト」「ベートーヴェン・テレーゼ」「ワルトシュタイン」は新聞や雑誌で絶賛される。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)、「原典版で弾きたい! モーツァルトのピアノソナタ」(アルテス・パブリッシング)、「モーツァルトとヴァルター・ピアノ」(学研パブリッシング)など。

ベーゼンドルファー・アーティスト、国立音楽大学准教授  
久元祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>



C 酒石



## カーサ・モーツァルト

150-0001  
渋谷区神宮前1-10-23  
3F 03-3402-1756

JR「原宿駅」徒歩5分  
東京メトロ「明治神宮前」徒歩2分  
ラフォーレ原宿裏  
東京中央教会前

